

MCS 税理士法人立川事務所通信

4月号 VOL. 188

MCS 税理士法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町3-11-4 東京ロジテック千代田ビル4階

電話：042-595-7671 FAX：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp> mail:info@mcs-office.jp

相続専用HP：<http://www.souzokushien110.com/>



えんまん

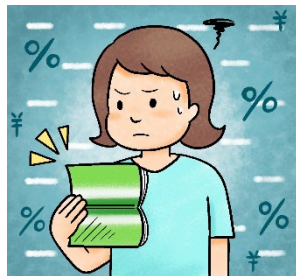
遺言相続支援センター

「こんにちは～こんにちは～」で始まる『世界の国からこんにちは』は、1970年の日本万国博覧会（大阪万博）のテーマソングでした。歌詞に込められた未来のイメージは「人類の進歩と調和」だそうです。あれから55年。人類はどう進歩して世界は調和しているのか。今回の大阪・関西万博にその答えがあるのでしょうか。

知っどこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【マイナス金利政策の解除でどうなる？】

2024年3月に日本銀行は、17年ぶりにマイナス金利政策を解除しました。また2025年1月には、政策金利の引き上げが決定しました。これにより私たちの預金の利子も、少しずつ増えていく可能性があります。



す。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、この利子にも税金がかかります。税率は20.315%で、その内訳は所得税が15%、復興特別所得税が0.315%、住民税が5%です。例えば1000円の利子があった場合、203円が税金として差し引かれ、797円が実際に受け取る金額になります。この仕組みを「源泉徴収」といいます。銀行が自動的に税金を計算して国に納めるため、私たちが自ら税金を計算したり確定申告などをする必要のない便利な仕組みです。会社員の給料から差し引かれる税金も同様です。

預金通帳には税引き後の金額のみが記載されているので、気づかない人も多いようです。これは国が効率よく税金を徴収できる仕組みで今後、預金の利子が増えれば、国の税収も増えていくことでしょう。

世界の偉人伝

今月の偉人：【ペーター・ベーレンス】

ペーター・ベーレンスは20世紀初頭に活躍したドイツの建築家、工業デザイナーです。ハンブルグに生まれ、画家やグラフィックデザインでキャリアを開始した後、建築家に転じます。開設した事務所にはコルビジェも在籍、モダニズム建築の発展に影響を与えました。またドイツの電機メーカーAEG社の顧問に就任、インダストリアルデザイナーの先駆けとして照明や家電のデザインを手掛けました。

「Less is more (少ないほど豊か)」という言葉で「引き算の美学」を残しています。

気軽にLet's 英会話

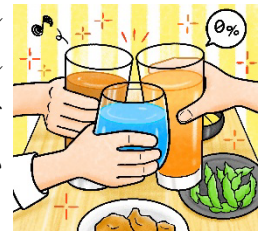
今月のキーワード：【inspection】

4月から車検の受検期間が、有効期間満了日の1カ月前から2カ月前に拡大されます。車を日常的に使っていると、検査に出すタイミングがなかなか難しいのでありがたいですね。「車の検査」は“automobile inspection”です。“inspection”には、他に「精査・監察・視察・点検」などの意味もあり“administrative inspection”「行政監査」、「nuclear inspection」「核査察」、「tour of inspection」「視察」、「immigration inspection」「入国審査」などと多くの場面で使われています。



今月のトピック：【ソバークュリアス】

アルコールをあえて飲まない「ソバークュリアス」なライフスタイルを選択する人が増えています。需要を受けて、ノンアルコールビールの種類も増えておいしさもアップしました。さらに同様のワインなども登場しています。「シラフ+好奇心」という語源の通り、飲めない人も飲まない人もそれぞれ楽しむ。お酒の世界も多様性の時代です。



才人の言葉

自由なものなど何も無い
鳥さへも空にっながれてる

アメリカの歌手であるボブ・ディランの言葉。鳥にとっての「空」は、人にとっての「社会」なのかもしれない。空があるから鳥であり、社会の一員だから人である。

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【人生を豊かにする人間関係の質】

誰とどのように付き合うかで人生の色彩は大きく変わります。この観点から見ると、人との関わり方には興味深い三つの層があるように思えます。まず同じ顔ぶれとの付き合いを好み、そこに終始する関わり方。これは確かに居心地良いものの、新しい視座を得る機会に限られ、ともすれば自己満足の殻に閉じこもりがちです。慣れ親しんだ環境に安住するあまり、自身の成長の可能性を狭めてしまう危うさをはらんでいるでしょう。仮にこれを「三流の関係性」とした場合、多くの人々との出会いを追い求めるのは「二流の関係性」といえそうです。多様な出会いは大いに刺激的で価値もありますが、それが表層的な名刺交換程度で終わってしまっただけでは本末転倒です。広く浅い人間関係は一見、華やかに見えても「数」を重視すると、本質的な心の通い合いを欠いてしまうことが多いです。では「一流」と呼ばれる人々に共通するのは、どのような形の関係性か。それは、目の前の一人一人を大切にする姿勢です。その時、その瞬間の対話に真摯（しんし）に向き合い、相手との信頼関係を丹念に紡いでいく。決して効率や利益だけを追求するのではなく、互いを理解し、尊重し合う関係を築くことで、結果として揺るぎない人脈が、自然と形成されていくのだと思います。人間関係に完璧な答えはありませんが、目の前の出会いを大切にすることは、人生を豊かにする鍵となりそうです。新しい出会いを大切にしながらも、一期一会の精神で一人一人との関係性を深めていく。せっかくなら「一流の関係性」をベースにした商売に励み、人生そのものを豊かにしていきたいものです。



トナりの本棚

【禁忌の子】

現役医師である山口未桜が描く第34回 鮎川哲也賞受賞作のミステリー。搬送された溺死体は、なぜ救急医と同じ顔なのか？寝不足になること必至の一冊です。



ハンバーグをこねたあとは肉の脂で手がベタベタしますね。この汚れは、砂糖で落とすことができません。砂糖小さじ1を片方の手のひらにのせ、十秒くらい両手でこすり合わせてから一度流し、さらにハンドソープで洗うと脂がスツキリ落ちてきれいになります。

